



こそだて通信

かしのき保育園 2012年度 No.1

== 新しい関係の中で ==

道端の木々が、小さな若葉で覆われ始めました。その葉っぱは柔らかく、瑞々しい黄色みどり色で、春が来たんだなあ、とワクワクさせられます。

この春から、かしのき保育園に入園されたお子さん、保育園生活はいかがですか？今までとは違う環境になると、その変化に戸惑い、慣れるのに少し時間がかかるかもしれません。

うちの娘は保育園生活3年目に入りますが、この季節になると、入園当初の娘の泣き顔がありありと思い出されます。その後、何か月かで泣くことはなくなりましたが、しばらくは、お迎えに行くと、園庭の土で真っ黒に汚れた家のタオルを腰に巻いて、お部屋で遊んでいたものです。

そうするうちに、お迎えに来た私をちらりと横目で見、まだ遊び続けるようになり、慣れたことをうれしく感じながらも、泣いて飛んできてくれないことを寂しくも感じ、自分のないものねだりに苦笑した覚えがあります。

この時期、お部屋では先輩の園児たちが、少し不安そうな新しいお子さんに、

「大丈夫だよ。ご飯食べて、お昼寝して、遊んでたら、ママ来るからね」と、頭をなでながら、やさしく語りかけている姿に出会うことがあります。その言葉に安心して遊び始めたり、担当保育士の顔を覚え、そばに寄ってきて笑顔を見せ、お友達と遊び始めたりするようにもなります。

新しい環境の中での成長に不安はつきものですが、その不安を少しずつ消していってくれ、乗り越える強さを育ててくれるのも、新しい大人との信頼関係だったり、新しいお友達と一緒に過ごす楽しい時間だったりするのです。

その日を心待ちにしながら、「ってきます」「ただいま」と、笑顔で声をかけてあげてくださいね。

(臨床心理士 藤井あづさ)